

チクニドヨウグモ *Metleucauge chikunii* Tanikawa

【選定理由】

県内では、局地的に分布し個体数も少ない。また、生息に適した環境が少なく、河川工事等に伴う生息域の縮小により、個体数の減少が心配される。

【形態】

体長雌 7.5~12mm、雄 6.5~8mm。背甲は灰褐色で、眼域から中央にかけて黒褐色の縦斑がある。腹部上面は濃茶褐色の斑紋で縁どられ、腹部中央に白色の縦斑がある。更に、その中に前方から中央にかけて濃茶褐色の縦斑がある。



豊田市王滝町(王滝溪谷), 2007年5月23日, 緒方清人 撮影

【分布の概要】

県内では、豊田市(旧豊田市・旧稲武町・旧足助町)、北設楽郡設楽町、岡崎市(旧額田町)に分布するが、局地的である。

国内では、北海道、本州、四国、九州に分布する(新海ほか, 2018)。

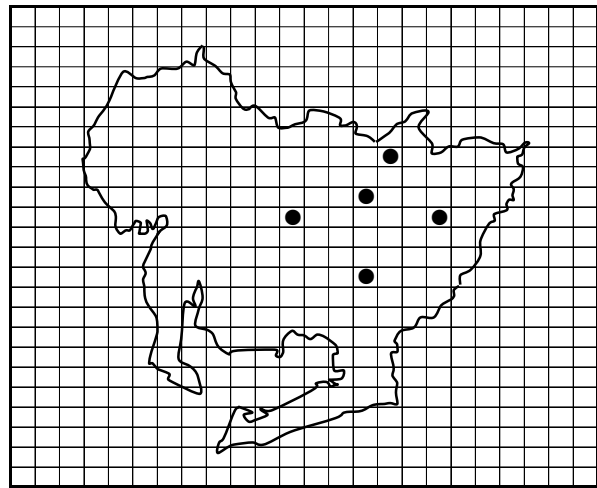
【生息地の環境／生態的特性】

山地の溪流の石の間に水平円網を張る。夜行性で昼間は石の表面に潜んでいる。主にカゲロウやトビケラなど水生昆虫を捕食する。

【現在の生息状況／減少の要因】

豊田市王滝溪谷では 10 数頭が生息しているが、他の地域では数頭と少ない。生息域での河川工事等は注意すべきである。

県内分布図



【保全上の留意点】

生息地での河川工事の際は、水流に幾つも岩を残し、円網が張れるように施工すべきである。

【引用文献】

新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生, 2018. CD 日本のクモ. 自刊.

【関連文献】

千国安之輔, 1989. 写真日本クモ類大図鑑, p.221. 偕成社, 東京.  
新海栄一, 2017. 日本のクモ増補改訂版, p.245. 文一総合出版, 東京.  
小野展嗣編著, 2009. 日本産クモ類, p.480. 東海大学出版会, 神奈川.  
小野展嗣・緒方清人, 2018. 日本産クモ類 生態図鑑, pp.209,521. 東海大学出版会部, 神奈川.

(緒方清人)